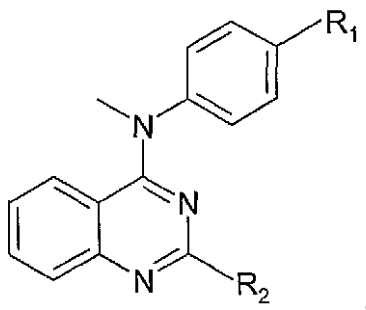
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【公表番号】特表2008-546713(P2008-546713A)
【公表日】平成20年12月25日(2008.12.25)
【年通号数】公開・登録公報2008-051
【出願番号】特願2008-517167(P2008-517167)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/517　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 239/94　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 239/95　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/34　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/08　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/517
Ｃ０７Ｄ 239/94
Ｃ０７Ｄ 239/95
Ａ６１Ｋ　47/34
Ａ６１Ｋ　47/04
Ａ６１Ｋ　47/12
Ａ６１Ｋ　 9/08
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｐ　37/00
Ａ６１Ｐ　17/00
Ａ６１Ｐ　17/06
Ａ６１Ｐ　 9/10
Ａ６１Ｐ　35/00

【手続補正書】
【提出日】平成21年6月2日(2009.6.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
薬学的組成物であって：
治療的有効量の式Ｉ：

【化１】



(I)

を有する少なくとも１つの化合物またはその塩、および１つ以上の液体希釈剤を含有し、ここで：

R_1は、OCH_3、$OCHF_2$、およびOCH_2CH_3から選択され；そして

R_2は、CH_3、Ｃｌ、CH_2F、およびSCH_3から選択される、薬学的組成物。

【請求項２】

１つ以上の前記液体希釈剤が、１つ以上の水性希釈剤を含む、請求項１に記載の薬学的組成物。

【請求項３】

前記少なくとも１つの化合物が、約０．０１μｇ／ｍｌ～約１５０ｍｇ／ｍｌの量で前記１つ以上の液体希釈剤と混合され、請求項１～２のうちのいずれかに記載の薬学的組成物。

【請求項４】

１つ以上の前記液体希釈剤が、１つ以上の非イオン性界面活性剤を含む、請求項１～３のうちのいずれかに記載の薬学的組成物。

【請求項５】

前記少なくとも１つの化合物と前記１つ以上の液体希釈剤との間の重量対重量の比が、約１：１０，０００～約１：１である、請求項１～４のうちのいずれかに記載の薬学的組成物。

【請求項６】

１つ以上の前記非イオン性界面活性剤が、ポリエトキシ化ヒマシ油である、請求項１～５のうちのいずれかに記載の薬学的組成物。

【請求項７】

前記ポリエトキシ化ヒマシ油が、ポリオキシル３５ヒマシ油である、請求項１～６のうちのいずれかに記載の薬学的組成物。

【請求項８】

前記少なくとも１つの化合物と前記ポリオキシル３５ヒマシ油との間の重量対重量の比が、約１：５００～約１：５である、請求項１～７のうちのいずれかに記載の薬学的組成物。

【請求項９】

前記１つ以上の液体希釈剤が、さらに少なくとも１つの粘度低下剤を含む、請求項１～８のうちのいずれかに記載の薬学的組成物。

【請求項１０】

前記少なくとも１つの粘度低下剤が、エタノールである、請求項１～９のうちのいずれかに記載の化合物。

【請求項１１】

前記少なくとも１つの非イオン性界面活性剤と前記少なくとも１つの粘度低下剤の比が、約２０：１～約１：１０（ｗ／ｗ）である、請求項１～１０のうちのいずれかに記載の薬学的組成物。

【請求項１２】

さらに１つ以上の賦形剤を含有する、請求項１～１１のうちのいずれかに記載の薬学的組成物。
【請求項１３】
前記少なくとも１つの賦形剤が、抗酸化剤である、請求項１～１２のうちのいずれかに記載の薬学的組成物。
【請求項１４】
１つ以上の前記液体希釈剤が、１つ以上の非イオン性界面活性剤および１つ以上の水性希釈剤を含み、そして該１つ以上の非イオン性界面活性剤と該少なくとも１つの水性希釈剤の容積対容積の比が、１００：１～１：２０，０００である、請求項１～１３のうちのいずれかに記載の薬学的組成物。
【請求項１５】
前記比が、約１：５０～約１：５，０００である、請求項１４に記載の薬学的組成物。
【請求項１６】
請求項１～１５のうちのいずれかに記載の薬学的組成物を含む、キット。
【請求項１７】
疾患および障害を処置するために有用な医薬を製造するための、請求項１～１５のうちのいずれかに記載の薬学的組成物の使用。
【請求項１８】
前記疾患および障害が、腫瘍性疾患、癌、自己免疫疾患のような免疫系の障害、ならびに乾癬のような哺乳動物の細胞の過剰増殖と関連する疾患および障害、表皮性の過剰増殖、再狭窄、糖尿病性網膜症のような血管増殖性疾患および糖尿病性合併症から選択される、請求項１７に記載の使用。
【請求項１９】
１つ以上の液体希釈剤に希釈される請求項１～１５のうちのいずれかに記載の薬学的組成物を含有する投薬組成物。
【請求項２０】
以下の工程：
ａ．１つ以上の液体希釈剤に少なくとも１つの式Ｉの化合物を少なくとも部分的に溶解し、薬学的組成物を形成する工程；および
ｂ．１つ以上の液体希釈剤に前記薬学的組成物を希釈する工程
を包含する、請求項１９に記載の投薬組成物を調製する方法。
【請求項２１】
疾患および障害を処置するために有用な医薬を製造するための、請求項１９に記載の投薬組成物の使用。
【請求項２２】
請求項１９に記載の投薬組成物を含む、キット。